

★川ごみ調査シート (記入済)

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■ 容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	50	
	○ビン	1	
	○ペットボトル	23	
	○ペットボトルのキャップのみ		
袋	○レジ袋	85	&[かけら・破片]多数
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	521	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・飲料カップなど)すべて	23	&[かけら・破片]多数
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	8	「豆乳の紙パック」1、「オイル缶」1、「紙カップ」5、「大きめの持ち手付きビニール袋」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)	1	
■ 産業系ごみ			
	○土のう袋・フレコンバッグ	6	「土のう袋(破片)」3、「フレコンバッグ」3
	○ブルーシート・農業用マルチシート		
	○鉄パイプ、産業系金属類	14	「鉄パイプ」2、「鉄筋(2m)」1、「(幅5cmほどの細長くて薄い)鉄板」1、「太い針金」1など
	○その他		
■ 製品ごみ			
	○タバコの吸い殻	138	&「箱」18、「ライター」2、「吸い殻ケース」1
	○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど	6	「靴(新品、片方)」1、「(様々な大小)ボール」3、「CD」2
	○衣類・オムツ・マスク・手袋など	35	「ズボン」2、「Tシャツ」1、「マスク」28、「手袋」1、「帽子(布)」2、「タオル」1
	○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)	1	
	○金属製品	6	「針金」1、「鍋」1、「ガスレンジ」1、「ACアダプター」1、「電池」2
	○その他	13	「魚とり網」3、「植木鉢(プラ)」1、「ほうき」1、「チャックマン」1、「プランター」1、「スケボー」1、「ゴム片」2、「鏡」2、「玄関マット」1 &「ガラス(破片)」多数
■ 粗大ごみ(不法投棄)			
	○自転車・バイク・家具・その他		

◆調査年月日:2023年6月4日(日)

◆調査エリア:大栗橋上流100m~新大栗橋~向ノ岡大橋~報恩橋(全長:約600m)

◆参加人数:23名(うち子ども3名)

◆可燃系:4袋(45ℓ袋)+7袋(20ℓ袋) / 不燃系:2袋(45ℓ袋)+1袋(20ℓ袋)

◆特記事項:

6月2日~3日にかけて、台風の湿った空気の影響で多摩市も記録的な大雨となり、4日の清掃実施が危ぶまれました。3日の17時にメンバーで新大栗橋たもとの水量確認を行い、開催まで17時間あったため、水が引くであろうと想定し、開催を決定しました。

翌4日の実施日は台風一過の晴天となり、水も一定量引きました。しかしながら、通常の水量の倍ほどの水深があったため、新規参加者は水の中に入ったの清掃はNGとし、通常メンバーもほぼ陸域や中州を中心とした清掃に徹することと致しました。

この日は、なぎ倒された陸域のカヤなどに絡まったプラスチックごみを拾うことが中心となりました。

3日まで、近年稀に見る水の勢いがあったため、多くのごみが流されて、ごみの量は少なかったです。このような時、ペットボトルはほぼ下流に流されてしまうことも、数値から実感できました。

そんな中、「海ごみゼロウィーク」との連動で行なった今回の清掃は、たま広報や多摩市WEB、当会の独自の広報などの効果で、新規参加者で学生さんが3名(内、おひとりは港区から!)、大人1名の計4名が初の清掃体験をしてくださいました。「様々な種類のごみに驚いた」「いつか清掃で社会貢献したいと思っていた」などの感想があり、今後に期待がもてました。